令和3年度　事務事業評価調書

施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03131

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥受託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果】(S)(T)(U)
見直し状況(F)(J)(M)で①②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制 うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	令和3年度 一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	重点点検事業 Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
1009		03091	一般	アイヌ協会補助金	②	アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上を図るため、(公社)北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課		36,713	36,713	0.7	0.0	0.7	42,180		現状維持	引き続き、北海道アイヌ協会が行う事業に要する経費を補助する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	（公社）北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増加させるため、国・道からの事業の受託や、会員増による収入増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金を募る取組も進めている。	・道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	・公益社団法人北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増やすため、国・道からの事業の受託や、会員増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金などの支援を受けるための取組を進めているところであり、道としては、引き続き、活動内容や予算等について、同協会と協議しながら、団体の自立化を推進していく。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1013			一般	アイヌ民族文化財団事業費補助金	②	アイヌ施策推進法に基づき設置された(公財)アイヌ民族文化財団の補助に関する業務	アイヌ政策課		295,808	295,808	2.3	0.0	2.3	313,771		現状維持	引き続き、(公財)アイヌ民族文化財団が行う事業に要する経費を補助する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	国費要望の中で、適正な負担割合に基づく国の負担引き上げを要請しているところであり、引き続き機会を捉えて国に必要な財源措置を求めた。	・アイヌ施策推進法の施行やウポポイの開設を踏まえ、本補助金の対象である普及啓発等の事業について、国及び道の役割分担の整理を行った上で国事業への移行や、事業効果の検証を踏まえた事業費の精査を確実に行うなど、必要な見直しを国に対し求めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	・アイヌ施策推進法が施行され、国が主体となり、全国的な視点に立ってアイヌ施策を推進することとなったことから、同法に基づく国、地方公共団体の責務に応じて、補助事業に係る国の負担割合の引き上げなどについて、国費予算要望等を行っていく。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1014			事務	アイヌ文化等の情報発信に関する事務	②	民間企業や関係団体等と連携して、アイヌ文化等に関する道民の理解を促進するためのフォーラム や、アイヌ文化の情報発信のあり方について検討する会議の実施、運営	アイヌ政策課		0	0	0.3	0.0	0.3	2,343		現状維持	引き続き、アイヌ文化等の情報発信に関する事務を継続する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1015			一般	アイヌ総合センター管理運営費	⑧	道立アイヌ総合センターの指定管理に関する業務	アイヌ政策課		12,201	12,170	0.4	0.0	0.4	15,325		現状維持	引き続き、アイヌ総合センター管理運営を継続する必要があるため	－	⑤	②	道全体として取り組むべき課題であることから、道の施設の管理者にも取組を促す予定	－	⑥⑦	②	道全体として取り組むべき課題であることから、道の施設の管理者にも取組を促す予定						指定管理者に対し、温室効果ガス排出削減に向けた取組やICTを活用した利用者の利便性向上のための取組を求めるなど、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○		電子メールを活用したペーパレスに努めているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1011		03091	事務	アイヌ政策課総合調整等業務	②	道議会事務、国連宣言や国会決議に関する事務、予算決算等室内の庶務に関する事務全般及びアイヌ政策課内の事務の処理に関する事務	アイヌ政策課		0	0	0.4	0.0	0.4	3,124		現状維持	引き続き、アイヌ政策課総合調整等に係る事務を継続する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1016			一般	ウポポイ開設を捉えたアイヌ政策推進事業（創生交付金）	②	ウポポイの魅力について、各種媒体やイベントを活用した情報発信を行うとともに、聞心層の深掘や新たな発掘を実施し、更なる来訪意欲の向上を図るための事務	アイヌ政策課		123,389	62,372	2.9	0.0	2.9	146,038		終了	聞心層の深掘や新たな発掘を実施し、更なる来訪意欲の向上を図るための事務が必要であるため。 予算資料上は単臨だが、来年度以降、同様の事業で事業の再構築を検討している。	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			・ウポポイ開業効果の活用や今後の方向性を踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了		○	○	○	・ウポポイ100万人達成に向けたオール道庁でのウポポイ誘客及び開業効果の地域波及のため、関係課と連携して取り組みを進める必要があることから、兼職課長及び兼務主幹の配置を継続するとともに、アイヌ政策の推進に必要な執行体制の構築に努める。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1010		03091	一般	アイヌ文化理解促進普及啓発事業	①	道民全体へアイヌ民族の歴史・文化等の学習機会の提供	アイヌ政策課		40,597	0	0.8	0.0	0.8	46,845		終了	コロナ禍においても道民全体にアイヌ民族の歴史・文化等を学ぶ機会を提供する。 予算資料上は単臨だが、来年度以降、同様の事業で事業の再構築を検討している。	－	④	①	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため	－	⑥⑦	①	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため	○	①	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため				終了					
計								0	508,708	407,064	7.8	0.0	7.8																							

■令和４年度　新規事業

ウポポイ開設を捉えたアイヌ政策推進事業（創生交付金）、理解促進普及啓発事業